

創作性が豊かなアクアビクスの講習は大きな成果。

プールのメニューに変化をつけるヒントになりました。

草島 猛 (28歳)

北海道石狩市 B & G 海洋センター



個人的には従来からスキーとサッカーの指導員資格を持っていましたが、マリンスポーツでは B & G 財団のリーダー資格を受講した程度でしたので、ぜひ今回の研修には参加させてほしいと手を上げました。日頃、海洋センターではプールを使ったカヌー教室などを行っており、B & G 滝川海洋センターさんへ遠征してキャンプを兼ねた石狩川の川下りなども実施しています。

今回の研修は、厳しい部分もあって筋肉痛にもなりますが、メリハリのある集団生活を楽しんでいます。いま、声がつぶれていますが、これはアクアビクスの講習で張り切り過ぎたためです(笑)。アクアビクスは、どんなパフォーマンスを取り入れるか自分たちで創作しなければなりませんので、チームを組んだ人たちと意見を出し合いながら練習するところが実に楽しいですよ。海洋センターに帰ったら、これはメニューに加えてみたいと思いました。

また、地元では高齢者向けのメニューとしてプールを使った筋力アップ講座を始めたところですが、今回の研修によって、プールは単に泳ぐだけでなく、リハビリやリラクゼーションといった、さまざまな利用方法があるということを再認識させられました。

**研修で知り合った大勢の仲間は、
仕事をしていくうえでの貴重な財産になると思います。**

二田房一（29歳）
福岡県星野村B & G海洋センター



これまでは村の建設課にいましたが、今年4月から教育委員会に配属されて、海洋センターの仕事をするようになりました。もともと、個人的にはサッカーの指導員をしていたので、スポーツの指導には関心があり、今回の研修にもぜひ参加したいと手を上げました。建設課の仕事より、こちらが自分には合っているようです（笑）。

ただ、水泳は学校の授業で習った程度で、どちらかと言えば苦手意識が強く、研修が始まった当初は不安だらけでした。しかし、基礎から徹底的に教えていただけるので、頭で理解しても実際にできなかつたことが、徐々に身に付いてきました。問題は立ち泳ぎで、現在、40秒ほどしか泳げませんが、研修が終わるまでには、なんとか規定通りできるようにしたいと頑張っています。

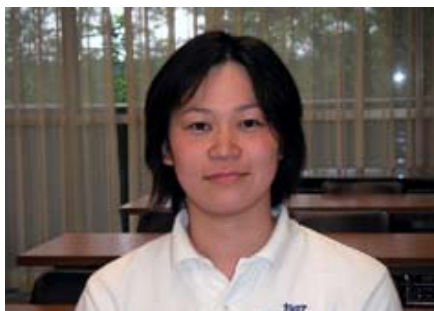
研修生活では、年齢が異なる参加者が多いので、たいへん刺激になっており、学生時代に戻った感じでワイワイと楽しく過ごしています。夜には、知り合った各地の参加者とビールを飲んで盛り上がっていますが、仕事のヒントになる話題も多く、たいへん参考になっています。おそらく、ここで知り合った仲間は、今後、仕事面においての貴重な財産になると思います。

研修で学んだことを活かし、

子供の頃から親しんでいる海洋センターに恩返しをしたい。

鈴木亜貴子（24歳）

千葉県鋸南町 B & G 海洋センター



スイミングスクールでインストラクターをしていましたが、今年から町役場に採用されて海洋センターに配属されました。まだ、実戦経験が少ないので、この研修で力をつけて帰りたいと思っています。特に、指導者としての人間性や知識、そして集団行動などを学び、今後に役立てたいものです。海洋センターは、子供の頃から通って泳いでいましたので、アクアインストラクターの資格を取って恩返しをしたい気持ちで参加しました。

泳げる人は、どうやって自分が泳げるようになったのか記憶に残っていないものです。そのため、泳げない人に水泳を教えるということは、とても難しいことだと思うのですが、今回の研修を基に今後も指導者の立場からいろいろ試行錯誤していきたいと考えています。

そのヒントの1つとなったのはアクアビクスです。単に泳ぐだけでなく、みんなで知恵を出し合いながら楽しむメニューを体験して、プールにはいろいろな可能性があるのだということを知りました。また、研修を通じて、いろいろな地方の参加者と意見交換できましたので、仕事のイメージが膨らみました。海洋センターに帰ったら、プールの利用法や水泳教室の内容などを、自分なりに考えてみたいと思います。

海洋センターでは事務職ですが、

ここで資格を取って他の指導員の仕事も手伝いたい

井澤英子（43歳）

富山県八尾町B & G海洋センター



海洋センターは今年で7年目で、受付事務をしています。今回は、上司から「研修に参加して、もっと自己アピールできるように勉強してきてほしい」と言われ、参加しました。6人家族なので、3週間も家を空けることに不安があり、泳ぎも得意なほうではなかったのが心細かったのですが、この研修に参加したことがある職員から「ぜったい大丈夫」と励まされ、頑張る気持ちが起きました。

実際、研修は厳しい面もかなりあって、立ち泳ぎなどでは沈んでしまって水をだいぶ飲んだこともありましたが、日を追うごとに水泳が上達していくことを実感しています。

海洋センターでは職員が少ないため、保育園児の水泳教室のときなどは父母のボランティアの方々が交代でインストラクターのお手伝いをしています。もちろん、忙しいときは私もお手伝いしていますが、ここで資格を取ることができたら、たいへん心強いと思います。また、同じ部屋になった方々が水泳のインストラクターなので、いろいろと仕事の話聞くことができ、たいへん触発されています。こうなったら、ぜひとも上手くなって帰りたいですね。